

# 化学工業日報

2013年(平成25年)

7月8日 月曜日

第22627号 (日刊、土・日・祝日除く)

## レアアース動向 でセミナー開催

マテリアル・  
トレーディング

マテリアル・トレーディング・カンパニーは5日、セミナー「第4回希土類会議シリーズ」を都



コメントする

小滝社長(中央)

内で開いた。資源、リサイクル、そして新用途の開発をテーマに産総研の渡辺寧研究員ら4人が講演。業界関係者ら約120人が来場した。

冒頭、小滝秀明社長は「2010年8月の需給ひっ迫で暴騰した市況が下落し続け、現在は供給にも安定感が出ている。この状況を樂觀視することなく、日本のハイテク産業を支えるためにレアアース業界を盛り上げていかなければいけない」とコメント。今年下期の中国からの輸出货量(E/L枠)は、1万5500ト。年を通してみると約3万トとな

り、4年連続でほぼ同水準のE/L枠となる見通し。セミナーの冒頭、経産省希有金属室長の大木雅文氏は現在実施されているレアアースなどのE/L枠廃止に対する世界貿易機関(WTO)の紛争解決小委員会(パネル)に関する近況報告として「来年にも報告書が出る見通しだが、中国より不服手続きが実施される可能性もある。そのため最終的な結論は15年頃出るのではないかとみている。もし履行された場合は計算上で内外価格差がなくなるとみられ、これからも市況の安定化に向け動向を注視していく」と述べた。